



# 文化博物館だより 第217号

2008年6月12日

みなさん、こんにちは。16日までは、時のウィークです。今年の通過記念証の組み立て天球儀は、文博でも配布していますよ。

## 琴の調べが開催されます

明石三曲協会によるお琴と尺八の演奏会が催されます。展覧会のご鑑賞とともにぜひお楽しみ下さい。参加料は無料ですが、別途、観覧料が必要です。お時間の頃にご来館下さい。

開催日時：6月14日(土)

15日(日) 両日とも午後2時から



## 野鳥は、何羽？

小倉健さんの作品には、野鳥が数多く登場します。ポスターに載っている作品「冬の滝と野鳥」もそうです。今回は約90点が出品されていますが、その中に野鳥は一体、何羽いるのでしょうか？良かったら数えてみて下さいね。

## 中学生たちの仕事体験・・・

中学生が職業体験をする「トライやるウィーク」。文博にも市内の中学生10名が博物館の仕事を体験するため、6月3日～6日の日程でやってきました。初日は、館内を見て回り、実際の業務を体験したのは2日目から。



受付業務の体験

ふたつの班に分かれ、受付と監視の業務を行いました。受付では、積極的に職員に質問をする子もいました。職員が「お客さんに聞こえるように、はっきりと『いらっしゃいませ』とあいさつしてね」と説明すると、とまどいながらも来館したお客さんに「いらっしゃいませ」。そして、ちょっと緊張した面持ちでチケットを渡していました。

初めての受付業務を終えた中学生からは、「ちょっと大人の世界をのぞけた」という感想が。大人になって、実際に働く時まで、今回感じたような気持ちを忘れないで下さいね。

私の数えたところでは、「野鳥」は22羽でした。作品によって、表情が違うものがあるので、好みの「野鳥」について語り合うのも楽しいかもしれません。